

【佐賀県立伊万里実業高等学校】文理融合型教育による「いまりん6次化」実践プログラム

目的

- 地域から求められる専門高校として、地域資源を活用した「6次産業化」を実践できる人材育成が必要
- 多様化する進路ニーズに適応した学びが必要

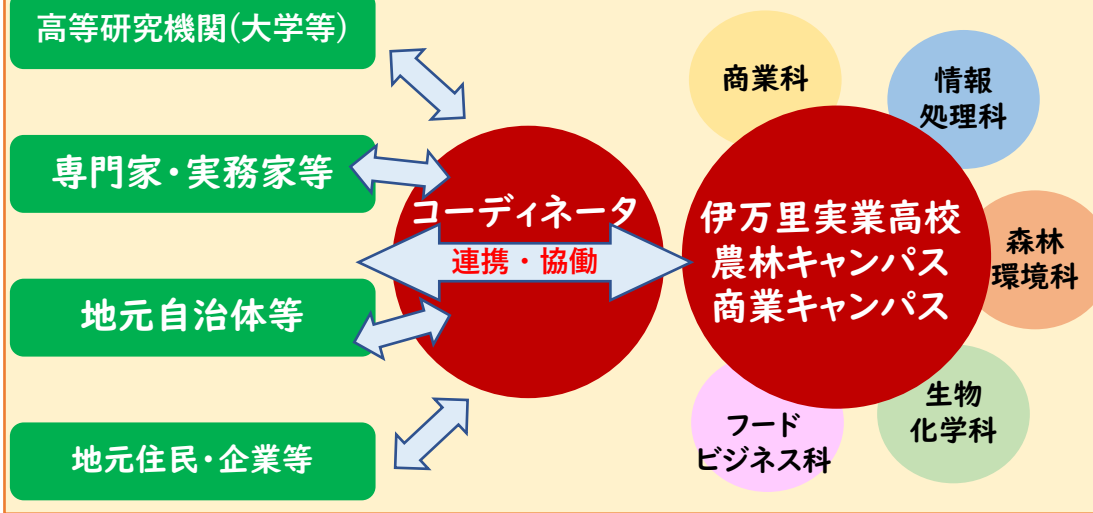
カリキュラム概要

6次産業化人材を育む文理融合型の学科・教科等横断による専門教育を推進する実業系高等学校の新しい教育モデルの確立と普及

新しい教育方法

学科の枠を超えた学び合いと外部講師の活用

伊万里実業高校コンソーシアム



令和5年度の目標

- 学科の枠を超えた学び合いを行うことで、多様な専門教科に興味・関心高めるとともに、高い専門性の融合による、多様で幅広い視野をもって課題を解決する人材を育成する。
- 外部講師を積極的に活用することで、学校の枠を超えた多様で幅広い視野をもって課題を解決する人材を育成する。

取り組み状況

【キャンパス間交流学习】

「農業科」と「商業科」の生徒が互いに相手のキャンパスに移動して交流学习を体験することで、それぞれのキャンパスの学びを理解するとともに、それぞれの専門学習に興味関心を高める。

【課題研究発表会】

農業及び商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行う課題研究の成果を発表することによって、農業と商業を学んだ生徒同士の学び合いを目指す。

【ビジネスプランコース】

外部講師を活用して生徒と地域社会との接点を増やし、生徒が提案するビジネスプランをとおして、地域社会に貢献できる人材教育を目指すことを目的に授業を開始した。



(図1)
商業科の生徒が農業科の生徒に簿記を教える様子



(図2)
農業科の生徒が商業科の生徒に測量を教える様子

成果と課題

- 互いの専門教科に対して興味・関心を高めることができた。しかし、課題研究では内容を「調査、研究、実験」とするのか「作品製作等」とするのか、農業と商業で捉え方が全く異なっていることがわかった。今後、「文」と「理」融合の手立てを模索し続けたい。
- 外部講師を活用した課題研究の取組「ビジネスプラン」の効果は大きかった。ビジネスプランの立案に関しても段階的に指導を受けることができ、内容の深いものが作成できた。

【宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校】 VUCA時代を生き抜く**野性味**あふれる「**価値創造人材**」の育成

国際社会で活躍する人材の育成

野性味や冒険心の育成

主体的に生きる人間の育成

リアルな学び（体験活動）

Design × Dialogue

探究力を育む授業環境

対話の深まり

教科横断型授業
学校設定科目

哲学対話
地域活動・交流

デジタルな学びの空間

Data × Digital

自己の振り返り

次世代学校教育モデル

Ai-GROW
ICE-Qs
探究力測定

Google Workspace
アバターロボット
(メタバース空間)

コンソーシアム構築イメージ（一部）

地域連携機関
世界農業遺産高千穂郷・
椎葉山地域活性化協議会
GIAHSアカデミー

研究機関
授業デザイン研究所
総合地球環境研究所

高等教育機関
宮崎大学 / 九州大学
京都大学防災研究所 等

企業
宮崎県内企業
avatarin株式会社
IGS株式会社

五ヶ瀬中等教育学校

コーディネーター

国際機関
JICA九州センター

行政機関
宮崎県教育委員会

《指導・助言・評価》

運営指導委員

カリキュラム
アドバイザー

Digital × Real
2023～**新時代**の学び

Society5.0に対応する**先端的な学び**

Glocal

2019～地域との協働事業

Global

2014～SGH事業

Local

1986～フォレストピア構想

VUCA時代を生き抜く**野性味**あふれる
「**価値創造人材**」の育成

成果検証
評価

- 非認知能力の客観的評価
- AIによるアセスメント

21世紀型スキル
の育成

課題解決能力
の育成



個別最適化されたカリキュラム開発
学際探究基礎(3年) / 学際探究(6年)

- ①文理融合・教科横断型授業
- ②探究力を育む学校設定科目の開発
- ③オンラインを活用した同時双方向型の遠隔授業・探究活動の実践

総合的な探究の時間
教科授業・課外活動・寮教育
生徒同士の「学びあい」活動